

- 7) Miyazaki K, Ohta Y, Nagai M, Morimoto N, Kurata T, Takehisa Y, Ikeda Y, Matsuura T, Abe K. 2011. Disruption of neurovascular unit prior to motor neuron degeneration in amyotrophic lateral sclerosis. *J Neurosci Res* 89(5):718-728. (原著)
- 8) Morimoto N, Deguchi K, Sato K, Yunoki T, Deguchi S, Ohta Y, Kurata T, Takao Y, Ikeda Y, Matsuura T, Abe K. 2011. Correlation of cerebral spinal fluid pH and HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> with disease progression in ALS. *J Neurol Sci* 307(1-2):74-78. (原著)
- 9) Tian F, Morimoto N, Liu W, Ohta Y, Deguchi K, Miyazaki K, Abe K. 2011. In vivo optical imaging of motor neuron autophagy in a mouse model of amyotrophic lateral sclerosis. *Autophagy* 7(9):985-992. (原著)

#### 池田 修一

- 1) 滝沢正臣、小池健一、中村昭則、武井洋一、笹木昇. タブレット端末による在宅医療情報電子共有システム. *日本遠隔医療学会雑誌* 8(1):25-28, 2012.
- 2) 中村昭則、滝沢正臣. 難病患者に対するモバイル電子端末を用いたチームケアシステムの効果. *日本遠隔医療学会雑誌* 8(2):106-108, 2012.
- 3) 滝沢正臣、中村昭則、武井洋一. モバイル端末による電子チームケアシステムの有効性. *日本遠隔医療学会雑誌* 8(2):109-111, 2012.
- 4) 松沢由美、中村昭則、吉田邦広、両角由里、高橋宏子、池田修一. 信州大学医学部附属病院難病診療センターによる訪問診療に対する意識調査. *信州医学雑誌* 61(6):217-223, 2013.
- 5) 中村昭則、吉田邦広、松沢由美、両角由里、池田修一. 信州大学医学部附属病院難病診療センターによる長野県神経難病患者の在宅療養支援の現状と課題. *信州医学雑誌* 61(6):397-403, 2013.
- 6) 滝沢正臣、中村昭則、武井洋一、大原慎司: 在宅難病患者家族への総合在宅遠隔医療システムの開発. *日本遠隔医療学会雑誌* 9(2):74-78, 2013.
- 7) 根野晃代、中村昭則、宮崎大吾、滝沢正臣. 神経難病患者におけるモバイル端末を用いた在宅チームケアシステムの有効性. *日本遠隔医療学会雑誌* 9(2):145-147, 2013.
- 8) 宮崎大吾、中村昭則、日根野晃代、滝沢正臣. タブレット端末を用いた診療情報共有の有効性の評価. *日本遠隔医療学会雑誌* 9(2):148-151, 2013.

板井 孝彦郎

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
板井孝彦郎	医療情報と生命倫理	板井孝彦郎 村岡 潔	シリーズ生命倫理学第 16 巻 医療情報	丸善出版	東京	2013	1-26
板井孝彦郎	医療情報と情報倫理	浅見省吾 盛永審一郎	教養としての 応用倫理学	丸善出版	東京	2013	27-46
板井孝彦郎	生きる意味を探し求める全人的医療の哲学	太田秀樹 秋山正子 板井孝彦郎 大島伸一	治す医療から支える医療へ：超高齢社会に向けた在宅ケアの理論と実践	木星舎	福岡	2012	98-138

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
板井孝彦郎	医療安全管理業務としての臨床倫理コンサルテーション	臨床倫理	No.2	印刷中	2014
板井孝彦郎	事前指示について	内科	112 (6)	1372-1376	2013
板井孝彦郎	ACP（事前ケア計画）としての事前指示：患者意思の「共有プロセス」を支える臨床倫理サポート	人間と医療	No.1	22-31	2011

伊東 秀文

論文発表

村田顕也、細川万生、伊東秀文ら．和歌山県における在宅人工呼吸器使用患者の実態調査とその対策について．日本難病医療ネットワーク学会機関誌 2013;1:88.

伊藤 博明

Toshio Shimizu, Utako Nagaoka, Yuki Nakayama, Akihiro Kawata, Chiharu Kugimoto, Yoshiyuki Kuroiwa, Mitsuru Kawai, Takayoshi Shimohata, Masatoyo Nishizawa, Ban Mihara, Hajime Arahata, Naoki Fujii, Reiko Namba, Hiroaki Ito, Takashi Imai, Keigo Nobukuni, Kiyohiko Kondo, Mieko Ogino, Takashi Nakajima, Tetsuo Komori	Reduction rate of body mass index predicts prognosis for survival in amyotrophic lateral sclerosis: A multicenter study in Japan	Amyotrophic Lateral Sclerosis	13	363-366	2012
--	--	-------------------------------	----	---------	------

伊藤 道哉

2013 年

伊藤道哉：「生命と医療の倫理学」改訂新版、全 235 頁、丸善出版、2013. 査読無し＝（無）

伊藤道哉：「医療の倫理 資料集」改訂新版、全 220 頁、丸善出版、2013. （無）

伊藤道哉、日本医師会監修：「医の倫理」、全 75 頁、メヂカルフレンド社、2014. 査読有り＝（有）

伊藤道哉：神経内科領域における保険診療の課題と対策、臨床神経 第 53 巻、923-925、2013（無）

伊藤道哉：生命維持治療法制化の影響に関する量的・質的研究. 日本医療・病院管理学会誌. 50. Suppl. 246, 2013. （有）

森谷就慶, 尾形倫明, 伊藤道哉, 他：精神障害者の就労に求められるスキル、日本医療・病院管理学会誌 50 巻 Suppl. 262, 2013 （有）

千葉宏毅, 金子さゆり, 尾形倫明, 伊藤道哉: 在宅医師による末期がん患者・主介護者に対する生活用具等の説明に関する研究、日本医療・病院管理学会誌 50 巻 Suppl. 242, 2013. (有)  
尾形倫明, 千葉宏毅, 森谷就慶, 松本裕樹, 桜澤邦男, 伊藤道哉, 濃沼信夫: 家族介護者における仮想評価法での介護手当(現金給付)の水準額に関する研究、日本医療・病院管理学会誌 50 巻 Suppl. 256, 2013. (有)

伊藤道哉, 千葉宏毅: 「東日本大震災被災地・被災地外医療機関等に対する比較調査からみた難治性疾患患者の危機管理に関する提言」「希少性難治性疾患に関する医療の向上および患者支援のあり方に関する研究」 総括・分担報告書、221-226、2013.03.

伊藤道哉: 「ロボットスーツ HAL で培った『サイバニクス技術』を活用した神経筋難病患者のための新しい機器操作インターフェースデバイスの普及に関する研究」「希少性難治性疾患—神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット (HAL-HN01) に関する医師主導治験の実施研究」 総括・分担報告書、111-116、2013.03.

2012 年

伊藤道哉: 「難病」とは?～歴史・定義・国際比較～ワークショップ記録集、厚生労働科学研究費難治性疾患克服研究事業「希少性難治性疾患に関する医療の向上および患者支援のあり方に関する研究」. 2012. (無)

伊藤道哉, 千葉宏毅, 川島孝一郎: 東日本大震災被災地在宅療養支援診療所等および被災地外在宅療養支援診療所等に対する調査からみた在宅医療の危機管理、日本医療・病院管理学会誌 49 巻 Suppl. 187, 2012. (有)

伊藤道哉: 「難治性疾患等長期高額負担のあり方に関する研究」「希少性難治性疾患に関する医療の向上および患者支援のあり方に関する研究」 総括・分担報告書、227-230、2012.03.

伊藤道哉: 「難病」とは?～歴史・定義・国際比較～ワークショップ記録集、厚生労働科学研究費難治性疾患克服研究事業「希少性難治性疾患に関する医療の向上および患者支援のあり方に関する研究」. 2012.03.

荻野美恵子, 板井孝彦, 伊藤道哉: 「難病医療のあり方に関する包括的検討「難病の定義」の検討および「難病の緩和ケア研修会」について」「希少性難治性疾患に関する医療の向上および患者支援のあり方に関する研究」 総括・分担報告書、219-221. 2012.03.

伊藤道哉, 岡部健: 訪問看護推進事業報告書(全体版)、宮城県看護協会、1-250 頁, 同 抜粋版 1-45 頁. 2012.03.

金川仁子, 濃沼信夫, 金子さゆり, 伊藤道哉, 尾形倫明: 脳血管障害者に対する居宅系リハビリテーションの効果に関する検討、日本医療・病院管理学会誌 49 巻 Suppl. 156, 2012 (有)

尾形倫明, 千葉宏毅, 金川仁子, 森谷就慶, 松本裕樹, 渡部新太郎, 伊藤道哉, 濃沼信夫: 訪問看護利用者の家族介護者による現金給付の意向に関する研究(第3報)、日本医療・病院管理学会誌 49 巻 Suppl. 200, 2012 (有)

千葉宏毅, 伊藤道哉, 川島孝一郎: 在宅医療・介護現場における通信・ライフラインの途絶と在宅療養者への対応、日本医療・病院管理学会誌 49 巻 Suppl. 189, 2012 (有)

森谷就慶, 尾形倫明, 伊藤道哉, 濃沼信夫: 国際生活機能分類(WHO-ICF)からみた精神障害者の就労支援可能性の検討、日本医療・病院管理学会誌 49 巻 Suppl. 177, 2012 (有)

金川仁子, 濃沼信夫, 金子さゆり, 伊藤道哉: 在宅期のリハビリテーションが脳血管障害者の ADL と家族の QOL に与える影響、日本医療マネジメント学会雑誌、13 巻 Suppl. 302, 2012 (有)

千葉宏毅, 畠山倫史, 熊坂陽太郎, 伊藤裕子, 西崎久純, 伊藤道哉, 小坂健, 川島孝一郎: 震災被害を拡大させない在宅医療・介護関連職種の体制に関する研究、東北公衆衛生学会誌 61 号 50, 2012 (有)

金川仁子, 濃沼信夫, 伊藤道哉, 尾形倫明, 金子さゆり: 居宅系のリハビリテーションが脳血管障害者の ADL と家族の介護負担感に及ぼす影響、東北公衆衛生学会誌 61 号 42, 2012 (有)  
森谷就慶, 尾形倫明, 伊藤道哉, 濃沼信夫: 精神障害者の就労・雇用に求められる支援尺度の開発、東北公衆衛生学会誌 61 号 29, 2012 (有)

Koinuma N, Ito M: Changes in cancer treatment for economic reasons. 23rd International Congress on Anti-cancer treatment, Abstract book: 301, 2012. (有)

2011 年

濃沼信夫, 伊藤道哉, 金子さゆり: がんの経済難民を出さないために. 技術革新に伴う患者負担の増大にどう対処するか. 医療白書 2011 年度版. 44-54, 2011. (無)

板井孝彦郎, 伊藤博明, 伊藤道哉, 稲葉一人, 今井尚志, 大隅悦子, 荻野美恵子, 中島孝, 難波玲子: 筋萎縮性側索硬化症患者の意向の尊重とケア (事前指示) に関する検討. 厚生労働省「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」事務局、1-47 頁, 2011. (無)

金子さゆり, 濃沼信夫, 伊藤道哉, 尾形倫明: 急性期病棟におけるヒヤリハット発生と看護業務量および投入マンパワー量との関係. 日本医療・病院管理学会誌. 48(1): 7-15, 2011.

尾形倫明, 濃沼信夫, 伊藤道哉, 金子さゆり: 訪問看護利用者の家族介護者による現金給付の賛否に関する要因. 日本医療・病院管理学会誌. 48(3), 137-145, 2011. (有)

濃沼信夫, 伊藤道哉: 認知症のコスト. 未病と抗老化. 20(1): 20-24, 2011. (無)

伊藤道哉: 緩和ケアにおける倫理的諸問題 事前の意思表示によって生命維持治療を中止できるか. 日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集 16 回: 61, 2011. (無)

Koinuma N, Ito M: Economic burden of cancer patients receiving molecular-targeted therapy, 70th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, Proceedings: 417, 2011. (有)

伊藤博明, 板井孝彦郎, 伊藤道哉, 稲葉一人, 今井尚志, 大隅悦子, 荻野美恵子, 難波玲子: 筋萎縮性側索硬化症患者の意向の尊重とケアに関する研究. 2010 年度公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団一般公募研究 (前期) 完了報告書. 2011.10.

伊藤道哉, 荻野美恵子: 難治性疾患の医療費構造に関する研究 (1)医療費構造に関する総括的研究 難治性疾患の生涯医療費と高額医療負担のあり方に関する研究、難治性疾患の医療費構造に関する研究 平成 20-22 年度 総合研究報告書、97-106、2011.

板井孝彦郎, 伊藤博明, 伊藤道哉, 稲葉一人, 今井尚志, 大隅悦子, 荻野美恵子, 中島孝, 難波玲子: 筋萎縮性側索硬化症患者の意向の尊重とケア (事前指示) に関する検討 中間報告書. 厚生労働省「特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究」事務局、1-47 頁, 2011.

犬塚 貴

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
田中優司、犬塚貴ほか	岐阜県における難病の地域医療提供体制の構築への取り組み	難病と在宅ケア			(印刷中)
林祐一、山田恵、香村彰宏、吉倉延亮、原田斉子、木村暁夫、田中優司、保住功、犬塚貴	終末期の筋萎縮性側索硬化症患者に対する呼吸苦緩和への取り組み	岐阜内科医誌	25	85-89	2011

岩木 三保

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
岩木三保、立石貴久、吉良潤一	神経難病在宅療養支援のポイント	CLINICAL REHABILITATION	別冊	42-47	2012
岩木三保、中井三智子	難病療養を支える、難病コーディネーターの活動から	日本難病看護学会誌	17 (2)	123-124	2012

岡本 幸市

書籍(和文単行本)：

岡本幸市，藤田行雄：原発性側索硬化症．すべてがわかる ALS・運動ニューロン疾患．辻 省次編，中山書店，東京，2013，pp100-104

雑誌：

英文原著論文

- 1) Furuta N, Makioka K, Fujita Y, Ikeda M, Takatama M, Matsuoka M, Okamoto K: Reduced expression of BTBD 10 in anterior horn cells with Golgi fragmentation and pTDP-43-positive inclusions in patients with sporadic amyotrophic lateral sclerosis. *Neuropathology* 33: 397-404, 2013
- 2) Hayashi S, Amari M, Okamoto K : Loss of Calretinin- and parvalbumin-immunoreactive

- axons in anterolateral columns beyond the corticospinal tracts of amyotrophic lateral sclerosis spinal cords. *J Neurol Sci* 331:61-66, 2013
- 3) Furuta N, Makioka K, Fujita Y, Okamoto K: Changes in the clinical features of amyotrophic lateral sclerosis in rural Japan. *Intern Med* 52:1691-1696, 2013
  - 4) Sohmiya M, Wada N, Tazawa M, Okamoto K, Shirakura K: Immediate effects of physical therapy on gait disturbance and frontal assessment battery in Parkinson's disease. *Geriatr Gerontol Int* 13: 630-637, 2013
  - 5) Ushikubo M, Tomita C, Inokuma A, Ikeda M, Okamoto K: Illness course and circumstances of death among individuals with rapidly progressive amyotrophic lateral sclerosis. *International Medical Journal* 20: 446-449, 2013
  - 6) Nakamura R, Atsuta N, Watanabe H, Hirakawa A, Watanabe H, Ito M, Senda J, Katsuno M, Tanaka F, Izumi Y, Morita M, Ogaki K, Taniguchi A, Aiba I, Mizoguchi K, Okamoto K, Hasegawa K, Aoki M, Kawata A, Abe K, Oda M, Konagaya M, Imai T, Nakagawa M, Tsuji S, Kaji R, Nakano I, Sobue G: Neck weakness is a potent prognostic factor in sporadic amyotrophic lateral sclerosis patients. *J Neurol Neurosurg Psychiatry* 84: 1365-1371, 2013
  - 7) Sakurai A, Makioka K, Fukuda T, Takatama M, Okamoto K: Accumulation of phosphorylated TDP-43 in the CNS of a patient with Cockayne syndrome. *Neuropathology* 33: 673-677, 2013
  - 8) Mizuno Y, Fujita Y, Takatama M, Okamoto K: Comparison of phosphorylated TDP-43-positive inclusions in oculomotor neurons in patients with non-ALS and ALS disorders. *J Neurol Sci* 315: 20-25, 2012
  - 9) Makioka K, Yamazaki T, Takatama M, Nakazato Y, Okamoto K : Activation and alteration of lysosomes in multiple system atrophy. *Clin Neurosci Neuropathol* 23:270-276, 2012
  - 10) Ikeda Y, Ohta Y, Kobayashi H, Okamoto M, Takamatsu K, Ota T, Manabe Y, Okamoto K, Koizumi A, Abe K: Clinical features of SCA36: a novel spinocerebellar ataxia with motor neuron involvement (Asidan) . *Neurology* 79:333-341, 2012
  - 11) Ushikubo M, Okamoto K : Circumstances surrounding death and nursing difficulties with end-of-life care for individuals with ALS in central Japan. *International Journal of Palliative Nursing* 18:1-7, 2012
  - 12) Fujita Y, Ikeda M, Yanagisawa T, Senoo Y, Okamoto K: Different clinical and neuropathological phenotypes of familial ALS with A315E *TARDBP* mutation. *Neurology* 77:1427-1431, 2011
  - 13) Fujita Y, Fujita S, Takatama M, Ikeda M, Okamoto K: Numerous FUS-positive inclusions in an elderly woman with motor neuron disease. *Neuropathology* 31: 170-176, 2011
  - 14) Osawa T, Mizuno Y, Fujita Y, Takatama M, Nakazato Y, Okamoto K: Optineurin in neurodegenerative diseases. *Neuropathology* 31: 569-574, 2011

邦文症例報告(原著)：

岡本幸市, 五十嵐健祐, 勝山 彰, 福田利夫, 高玉真光：超高齢発症のFTLD-TDPの1剖検例. 79: 760-762, 2013

○ 大谷忠広, 牛久保美津子, 猪熊綾子, 富田千恵子, 池田将樹, 岡本幸市：病院と地域支援者間で実施した筋萎縮性側索硬化症のデスカンファレンス. 日本プライマリ・ケア連合学会誌 35 : 216-221, 2012

学会発表

○川尻洋美, 牛久保美津子, 岡本幸市：群馬県難病相談・支援センターに寄せられた脳脊髄液減少症(低髄液圧症候群)に関する相談実態の検討、日本難病看護学会 18(1) : p 52, 2013 (東京, 2013.8.24-25)

### 荻野 美恵子

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
荻野美恵子	過炭酸ガス血性昏睡(CO2ナルコーシス)	水澤英洋他編	今日の神経疾患治療指針 第2版	医学書院	東京	2013	1032-1033
荻野美恵子 他	医師国家試験にむけて	大学病院の緩和ケアを考える会編	臨床緩和ケア 第3版	青海社	東京	2013	145-162
荻野美恵子	ギラン・バレー症候群 臨床的事項	「ギラン・バレー症候群 フィッシャー症候群 診療ガイドライン」作成委員会編	ギラン・バレー症候群 フィッシャー症候群 診療ガイドライン 2013	南江堂	東京	2013	14-33
○荻野美恵子	3. 告知、診療チーム、事前指示、終末期ケア 10-10 ALSの診療報酬はどのようなになっているか	「筋萎縮性側索硬化症診療ガイドライン」作成委員会編	筋萎縮性側索硬化症診療ガイドライン	南江堂	東京	2013	46-74,199-200



○宮川沙織、 <u>荻野美恵子</u>	ALSに対する緩和医療	辻省次編	アクチュアル脳・神経疾患の臨床 最新アプローチ ALS・運動ニューロン疾患	中山書店	東京	2013	306-313
○ <u>荻野美恵子</u>	筋萎縮性側索硬化症5-1) 呼吸機能障害に対するアプローチを行った症例		神経難病のリハビリテーション-症例を通して学ぶ	医歯薬出版,	東京	2012,	103-107
○ <u>荻野美恵子</u>	神経疾患の福祉・介護施索		神経疾患最新の治療 2012-2014	南江堂	東京	2012	402-407
○ <u>荻野美恵子</u>	医療経済学的視点からみた多発性硬化症治療の課題	辻省次編	アクチュアル脳・神経疾患の臨床 最新アプローチ多発性硬化症と視神経脊髄症	中山書店	東京	2012	292-302
○Yugo Narita, Tsukasa Hashimoto, <u>Mieko Ogino</u> , Kimiko Takahashi, Reiko Namba, Masayuki Seno.	-		Home Care Handbook for People with Intractable Neurological Disease Aiming to distribute better palliative care in Japan.	ふくろう出版,	Okayama	2012	43-59
○ <u>荻野美恵子</u>	疾患別の緩和ケアの実際-神経難病の緩和ケア①筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	平原佐斗司編	在宅医療の技とこころシリーズ チャレンジ! 非がん疾患の緩和ケア	南山堂	東京	2011	114-127.

荻野美恵子	実践編 チーム医療 演習の展開例 神経 難病ー神経難病とそ の対策	水本清久編	インタープロ フェッショナ ル・ヘルスケア 実践チーム医 療論 実際と 教育プログラ ム	医歯薬出 版	東京	2011	
-------	--	-------	--	-----------	----	------	--

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
○Rabkin, J., <u>Ogino, M.</u> , Goetz, R., et.al. (原著)	<u>Tracheostomy with invasive ventilation for ALS patients: Neurologists' roles in the US and Japan.</u>	Amyotroph Lateral Scler.	14	116-123	2013
Miyakawa S, <u>Ogino M.</u> , Funabe S, et.al. (原著)	<u>Lewy body pathology in a patient with a homozygous parkin deletion.</u>	Mov Disord.	28	388-391	2013
Hayakawa H, Nagai M, Kawanami A, Nakata Y, Nihira T, <u>Ogino M.</u> , Takada M, Saido T, Takano J, Saegusa M, Mikami T, Hamada J, Nishiyama K, Mochizuki H, Mizuno Y. (原著)	<u>Loss of DARPP-32 and calbindin in multiple system atrophy.</u>	J Neural Transm	Epub ahead of print		2013 May 29
<u>荻野美恵子</u> (準原著)	「命」を考える教育	青山スタンダ ード論集	8	27-39	2013
<u>荻野美恵子</u>	医師の使命を考える 医 師・医学生立場から	J.Seizon and Life Sci.	14	116-123	2013

○荻野美恵子	Ⅲ筋萎縮性側索硬化症における呼吸ケア 日本神経治療学会治療指針作成委員会 標準的神経治療:重症神経難病の呼吸ケア・呼吸管理とリハビリテーション	神経治療学	30	203-206	2013
○浦野義章、荻野美恵子	NPPV と終末期ケア.	難病と在宅ケア	18	17-20	2013
清家由美子、荻野美恵子	日々少し異なる食品を摂取することが必要～ALS患者さんの経腸栄養剤中心の栄養補給法	難病と在宅ケア	18	61-65	2013
荻野 美恵子, 豊田 一則, 塩川 芳昭, 田口 博基	到来 二人に一人脳卒中時代 国全体で脳卒中に立ち向かうにはどうしたらよいのか?	内科	111	937-950	2013
荻野美恵子	[到来 二人に一人脳卒中時代] 国の明暗を分ける? 脳卒中	内科	111	806-808	2013
荻野美恵子	下肢型 ALS	脊椎脊髄ジャーナル	26	753-757	2013
長嶋和明、荻野美恵子	8筋萎縮性側索硬化症 <各論 2> 主な疾病と病態の在宅医療のポイント Medical Practice 最新実地医家のための在宅医療実践ガイド 入門から最前線まで	Medical Practice	30 臨時増刊号	268-273	2013
荻野美恵子	神経難病在宅人工呼吸療法におけるチーム医療	神経治療学	30	277-283	2013
○荻野美恵子	難病における痛み suffering への対処と支援のあり方 ALS における苦痛の緩和	日本難病看護学会誌	18	41	2013

浦野義章、 <u>荻野美恵子</u>	肺性脳症	神経・精神疾患 診療マニュアル 日本医師会	142 (特別号)	247-252	2013
<u>荻野美恵子</u>	【最後までよい人生を支えるには】現代における終末期医療とは	内科	112	1071-1074	2013
ORABKIN J, <u>OGINO MI</u> , GOETZ R, MCELHINEY M, MARZILIANO A, IMAI T, ATSUTA N, MORITA M, TATEISHI T, MATSUMURA T, MITSUMOTO H.	OPINIONS AND BEHAVIORS OF JAPANESE AND AMERICAN ALS CAREGIVERS REGARDING TRACHEOSTOMY WITH INVASIVE VENTILATION (TIV)	<i>Amyotrophic Lateral Sclerosis</i>	13(Su ppl. 1)	151	2012
ORABKIN J, <u>OGINO MI</u> , GOETZ R, MCELHINEY M, MARZILIANO A, IMAI T, ATSUTA N, MORITA M, TATEISHI T, MATSUMURA T, MITSUMOTO H.	OPINIONS AND BEHAVIORS OF JAPANESE AND AMERICAN PATIENTS REGARDING TRACHEOSTOMY WITH INVASIVE VENTILATION (TIV)	<i>Amyotrophic Lateral Sclerosis</i>	13(Su ppl. 1)	152	2012

Shimizu, T., Nagaoka, U., Nakayama, Y., Kawata, A., Kugimoto, C., Kuroiwa, Y., Kawai, M., Shimohata, T., Nishizawa, M., Mihara, B., Arahata, H., Fujii, N., Namba, R., Ito, H., Imai, T., Nobukuni, K., Kondo, K., Ogino, M., Nakajima, T. and Komori, T.	<u>Reduction rate of body mass index predicts prognosis for survival in amyotrophic lateral sclerosis: a multicenter study in Japan.</u>	<i>Amyotrophic Lateral Sclerosis</i>	13	363-366	2012
荻野美恵子	大災害時の神経疾患治療 としての問題点 8 ヶ月 後の今 後方支援の経験 からの問題点	神経治療学	29	227-230	2012
荻野美恵子	地域の中の筋萎縮性側索 硬化症診療	神経治療	29	729-733	2012
荻野美恵子	地域における大学病院の 役割 来る少子多死時代 に向かって.	看護管理,	22	401-405	2012
荻野美恵子	フィッシャー症候群 知 っておきたい内科症候群 神経・筋《免疫性・感染 性神経疾患》	内科	109	952-953	2012
荻野美恵子	社会保障制度の改革と神 経内科診療 何がどう変 わるのか? H24 診療報酬 改定について_	臨床神経学	52	1094	2012
北村英二、荻野美恵 子	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)・脊髄性筋萎縮症 (SMA)	Clinical Neuroscience	30	1318-131 9	2012

Kitamura, E. and <u>Ogino, M.</u>	Occurrence of cholelithiasis and cholecystitis in amyotrophic lateral sclerosis patients with long-term tracheostomy invasive ventilation	Intern. Med., 50 : 2291-2295, 2011. (Epub 2011 Oct 15.)	50	2291-229 5	2011. (Epub 2011 Oct 15.)
○北村英二, 荻野 美恵子, 濱田潤一, 望月秀樹, 土肥直 樹	筋萎縮性側索硬化症患者 における携帯型輸液ポン プを用いた在宅での morphine hydrochloride 持続皮下注について	神経治療学	28	163-166	2011.
○荻野美恵子	神経難病と緩和医療・終 末期医療 オピオイド・ モルヒネの使用を中心に	神経治療	28	25-28	2011
○Dirienzo, A., <u>Ogino, M.</u> , Rabkin, J., Goetz, R., Pasmantier, M., Mcelhiney, M., Mitsumoto, H. and TIV STUDY GROUP	Opinions and behaviors of Japanese and American neurologists regarding tracheostomy with invasive ventilation (TIV)	<i>Amyotrophic Lateral Sclerosis</i>	12 (suppl. 1)	29-30	2011
○ <u>Ogino, M.</u> , Kitamura, E., Miyakawa, S., Utino, A., Urano, Y., Nagai, M. and Ogino, Y.	Analysis of the end of life situation in 115 consecutive ALS patienta in the past nine years	<i>Amyotrophic Lateral Sclerosis</i>	12 (suppl. 1)	61	2011
○荻野美恵子	神経難病と緩和医療・終 末期医療-オピオイド・モ ルヒネの使用を中心に	神経治療学	28	25 - 28	2011
○荻野美恵子	神経内科領域における終 末期の倫理的問題 ALS 終末期ケアに関するアン ケート調査結果	月刊神経内科	74	170 - 175	2011

○荻野美恵子	終末期の苦痛緩和ケア [第4部] NPPVと終末期ケア	難病と在宅ケア	17	21 - 25	2011
荻野美恵子	ALSの治療とケア 介護・支援システム	Clin Neurosci	29	1068 - 1071	2011
荻野美恵子	そのやり方でOK?先輩エキスパートに学ぶ吸引・排痰テクニックのすべて 6 機器を用いた排痰	呼吸器ケア	9	908 - 911	2011

#### 小倉 朗子

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小倉 朗子	特集/地域で支え続けたい 神経難病の訪問看護 神経難病の在宅療養を支える看護システムと連携	コミュニティケア,	15(8)	10-13	2013
小倉 朗子	療養の安全・安心をまもる看護	日本難病看護学会誌	17(2)	95-98	2013

#### 小澤 哲夫

雑誌

原著論文

Kimura K., Takenaka K., Ebihara A., Uno K., Morita H., Nakajima O.T., Ozawa T., Aida I., Yonemochi Y. Higuchi S., Motoyoshi Y., Mikata T., Uchida I., Ishihara T., Komori T., Kitao R., Nagata T., Takeda S., Yatomi Y., Nagai R., Komuro I., Prognostic impact of left ventricular noncompaction in patients with Duchenne/Becker muscular dystrophy — Prospective multicenter cohort study International Journal of Cardiology, 168, 1900-1904, 2013

症例報告

藤井洋輔, 野村博昭, 赤井卓也, 小澤哲夫 Muenke 症候群の日本人 1 家系, 小児科臨床 67(1) 109-114, 2014.

梶 龍兒

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
瓦井俊孝, 佐治直樹, 寺澤英夫, 清水洋孝, 喜多也寸志, 田嶋敦, 井本逸勢, 和泉唯信, 梶龍兒	精神発達遅滞を伴う家族性脊髄小脳変性症の臨床医学的研究の具体的事例.	難病と在宅ケア	18	45-47	2012

加藤 丈夫

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
佐藤裕康、加藤丈夫	ALSに対するリハビリテーション.	辻 省次・祖父江 元 (編集)	「すべてがわかるALS・運動ニューロン疾患」	中山書店	東京	2013	323-328
○加藤丈夫、川並透、永野功ら		加藤丈夫 (編集)	「山形難病医療の手引」	山形大学医学部内科学第三講座	山形	2011	1-71

雑誌

○丹治治子、川並 透、加藤丈夫、佐藤博幸、須藤正英、塩野克巳、石澤めぐみ、川越隼雄：震災発生に伴う在宅医療の問題点と支援。(原著論文) 難病と在宅ケア。 2011 ; 17(8) : 62-65

○丹治治子、川並 透、加藤丈夫、佐藤博幸、須藤正英、塩野克巳、石澤めぐみ、川越隼雄：東日本大震災に関するアンケート調査の結果より。(原著論文) JALSA やまがた。 2011 ; 45 : 19-25

○丹治治子、川並 透、加藤丈夫、佐藤博幸、須藤正英、塩野克巳、石澤めぐみ、川越隼雄：震災発生に伴う在宅療養の問題点と支援。 JALSA やまがた。 2011 ; 46 : 23-29

○木村英紀、川並透、加藤丈夫：神経難病患者の在宅医療における無償床診療所との連携支援。難病と在宅ケア。(原著論文) 2011 ; 10 (10) : 61-65

Tanji H, Koyama S, Wada M, Kawanami T, Kurita K, Tamiya G, Saito N, Suzuki K, Kato T, Karen E. Anderson, Ann L. Gruber-Baldini, Paul S. Fishman, Stephen G. Reich, William J. Weiner, Lisa M. Shulman: Comparison of caregiver strain in Parkinson's disease between Yamagata, Japan, and Maryland, The United States. (原著論文) Parkinsonism and Related Disorders. 2013; 19(6): 628-633



川井 充

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
正田良介、土屋淳志、門脇輝子、藤沢晶子、吉田和枝、田郷香織、上松恵子、小谷美恵子、竹内宏美、田口國雄、松橋綾子、川井充：	埼玉県難病相談・支援センターの活動状況 原著論文	埼玉県医学会雑誌	第46巻1号	308-310	2011
宮内眞弓、川井充：	「経管栄養を行っている筋萎縮性側索硬化症患者の栄養評価」 原著論文	医療	66(2)	55-59	2012
木村琢磨、今永光彦、川井充：	コミュニケーションツールの使用が不可能な神経難病患者との訪問診療中のコミュニケーション法に関する探索研究 原著論文	日本プライマリ・ケア連合学会誌	36(3)	166-174	2013
Kimura,T. Imanaga,T. Matsuzaki,M. Kawai	Comparison of communication during home medical care between patients with intractable neurological disorders and those with malignant tumors. 原著論文	Neurology and clinical neuroscience	in press		
木村琢磨、今永光彦 川井充	訪問診療を行っていた神経難病患者の遺族が、遺族訪問で語った内容に関する探索	日本在宅医学会雑誌	15(2)	155-163	2013

川田 明広

書籍

- 1) ○川田明広編、第三号研修のための喀痰吸引等研修テキスト 喀痰吸引・経管栄養注入方法の知識と技術、中央法規出版、日本、2013年4月
- 2) ○川田明広 退院時における日常生活のケアの指導ー入院から在宅移行の病院医師からー日本ALS協会編、新ケアブック・第二版、筋萎縮性側索硬化症療養の手引き、(有)川島書店、日本、205-215, 2013年
- 3) 松原四郎：皮膚筋炎・多発筋炎・封入体筋炎．リハビリテーションの概念と実際. *Clinical Rehabilitation. J Clin Rehabilitation* 江藤ら（編集）別冊 神経難病のリハビリテーション 133-8, 2012.
- 4) 松原四郎：重症筋無力症．今日の治療指針．山口徹ほか(編) 医学書院 827-829, 2011

雑誌

- 1) Nakamura R, Atsuta N, Watanabe H, Hirakawa A, Watanabe H, Ito M, Senda J, Katsuno M, Tanaka F, Izumi Y, Morita M, Ogaki K, Taniguchi A, Aiba I, Mizoguchi K, Okamoto K, Hasegawa K, Aoki M, Kawata A, Abe K, Oda M, Konagaya M, Imai T, Nakagawa M, Tsuji S, Kaji R, Nakano I, Sobue G. Neck weakness is a potent prognostic factor in sporadic amyotrophic lateral sclerosis patients. *J Neurol Neurosurg Psychiatry*. 2013 Dec;84(12):1365-71. 「原著」
- 2) Kuźma-Kozakiewicz M, Berdyński M, Morita M, Takahashi Y, Kawata A, Kaida K, Kaźmierczak B, Lusakowska A, Goto J, Tsuji S, Zekanowski C, Kwieciński H. Recurrent K3E mutation in Cu/Zn superoxide dismutase gene associated with amyotrophic lateral sclerosis. *Amyotroph Lateral Scler Frontotemporal Degener*. 2013 Dec;14(7-8):608-14. 「原著」
- 3) Homma T, Nagaoka U, Kawata A, Mochizuki Y, Kawakami H, Maruyama H, Matsubara S, Komori T. Neuropathological features of Japanese familial amyotrophic lateral sclerosis with p.N352S mutation in TARDBP. *Neuropathol Appl Neurobiol*. 2013 Oct 9. doi: 10.1111/nan.12090. [Epub ahead of print] 「原著」
- 4) 川田明広 どこまで明らかになり、どのような対応が必要か～ALSにおける(TLS、完全な閉じ込め状態)とは～、難病と在宅ケア 19巻、7～10, 2013
- 5) Egawa N, Kitaoka S, Tsukita K, Naitoh M, Takahashi K, Yamamoto T, Adachi F, Kondo T, Okita K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Yamada Y, Morizane A, Takahashi J, Ayaki T, Ito H, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Watanabe D, Hioki H, Kaneko T, Makioka K, Okamoto K, Takuma H, Tamaoka A, Hasegawa K, Nonaka T, Hasegawa M, Kawata A, Yoshida M, Nakahata T, Takahashi R, Marchetto MC, Gage FH, Yamanaka S, Inoue H.

Response to commenton "Drug screening for ALS using patient-specific induced pluripotent stem cells". *Sci Transl Med*. 2013 Jun 5;5(188):188lr2. doi: 10.1126/scitranslmed.3005697.

「原著」

6) 林 健太郎, 望月 葉子, 中山 優季, 清水 俊夫, 川田 明広, 長尾 雅裕, 水谷 俊雄, 松原 四郎. 侵襲的陽圧補助換気導入後の筋萎縮性側索硬化症における意思伝達能力障害 - Stage分類の提唱と予後予測因子の検討 - *臨床神経*, 53 : 98-103, 2013 「原著」

7) Mochizuki Y, Isozaki E, Takao M, Hashimoto T, Shibuya M, Arai M, Hosokawa M, Kawata A, Oyanagi K, Mihara B, Mizutani T. Familial ALS with FUS P525L mutation: two Japanese sisters with multiple systems involvement. *J Neurol Sci*. 2012 Dec 15;323(1-2):85-92. doi: 10.1016/j.jns.2012.08.016. Epub 2012 Sep 11. 「原著」

8) Matsubara S, Kondo K, Sugaya K, Miyamoto K. Effects of tacrolimus on dermatomyositis and polymyositis: a prospective, open, non-randomized study of nine patients and a review of literature. *Clin Rheumatol* 2012; 31: 1493-8. 「原著」

9) Tamura S, Warabi Y, Matsubara S. Severe liver dysfunction possibly caused by the combination of interferon beta-1b therapy and melilot (sweet clover) supplement. *J Clin Pharmacy Therapeutics* 2012; 37: 724-5. 「原著」

10) 松原四郎 : 皮膚筋炎・多発筋炎・封入体筋炎. リハビリテーションの概念と実際. *Clinical Rehabilitation*. *J Clin Rehabilitation* 江藤ら (編集) 別冊 神経難病のリハビリテーション 133-8, 2012.

11) ○川田明広 : 神経難病患者の地域医療ネットワーク構築の課題と展望、*ノーマライゼーション* 7:22-27, 2012

12) Mochizuki Y, Isozaki E, Takao M, Hashimoto T, Shibuya M, Arai M, Hosokawa M, Kawata A, Oyanagi K, Mihara B, Mizutani T. Familial ALS with FUS P525L mutation: two Japanese sisters with multiple systems involvement. *J Neurol Sci*. 2012 Dec 15;323(1-2):85-92. 「原著」

13) Nakamura K, Ota M, Kawata A, Isozaki E, Muramatsu S, Matsubara S. Careful clinical observation is essential for diagnosis of Huntington's disease. *Arq Neuropsiquiatr*. 2012 Aug;70(8):646. 「原著」

14) Egawa N, Kitaoka S, Tsukita K, Naitoh M, Takahashi K, Yamamoto T, Adachi F, Kondo T, Okita K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Yamada Y, Morizane A, Takahashi J, Ayaki T, Ito H, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Watanabe D, Hioki H, Kaneko T, Makioka K, Okamoto K, Takuma H, Tamaoka A, Hasegawa K, Nonaka T, Hasegawa M, Kawata A, Yoshida M, Nakahata T, Takahashi R, Marchetto MC, Gage FH, Yamanaka S, Inoue H.

- Drug screening for ALS using patient-specific induced pluripotent stem cells. *Sci Transl Med.* 2012 Aug 1;4(145):145ra104. 「原著」
- 15) Kobayashi J, Kuroda M, Kawata A, Mochizuki Y, Mizutani T, Komori T, Ikeuchi T, Koide R. Novel G37V mutation of SOD1 gene in autopsied patient with familial amyotrophic lateral sclerosis. *Amyotroph Lateral Scler.* 2012 Oct;13(6):570-2. 「原著」
- 16) Shimizu T, Nagaoka U, Nakayama Y, Kawata A, Kugimoto C, Kuroiwa Y, Kawai M, Shimohata T, Nishizawa M, Mihara B, Arahata H, Fujii N, Namba R, Ito H, Imai T, Nobukuni K, Kondo K, Ogino M, Nakajima T, Komori T. Reduction rate of body mass index predicts prognosis for survival in amyotrophic lateral sclerosis: a multicenter study in Japan. *Amyotroph Lateral Scler.* 2012 Jun;13(4):363-6. 「原著」
- 17) 松原四郎：本態性高CK血症の臨床と筋生検の役割. *神経内科* 75: 60-4, 2011.
- 18) 松原四郎：重症筋無力症. 今日の治療指針. 山口徹ほか(編) 医学書院 827-829, 2011
- 19) Mochizuki Y, Mizutani T, Shimizu T, Kawata A. Proportional neuronal loss between the primary motor and sensory cortex in amyotrophic lateral sclerosis. *Neurosci Lett.* 2011 Sep 26;503(1):73-5. 「原著」
- 20) Mochizuki Y, Mizutani T, Shimizu T, Kawata A. Proportional neuronal loss between the primary motor and sensory cortex in amyotrophic lateral sclerosis. *Neurosci Lett.* 2011 Sep 26;503(1):73-5. 「原著」
- 21) Shimizu T, Hayashi M, Kawata A, Mizutani T, Watabe K, Matsubara S. A morphometric study of the vagus nerve in amyotrophic lateral sclerosis with circulatory collapse. *Amyotroph Lateral Scler.* 2011 Sep;12(5):356-62. 「原著」
- 22) Ito H, Fujita K, Nakamura M, Wate R, Kaneko S, Sasaki S, Yamane K, Suzuki N, Aoki M, Shibata N, Togashi S, Kawata A, Mochizuki Y, Mizutani T, Maruyama H, Hirano A, Takahashi R, Kawakami H, Kusaka H. Optineurin is co-localized with FUS in basophilic inclusions of ALS with FUS mutation and in basophilic inclusion body disease. *Acta Neuropathol.* 2011 Apr;121(4):555-7. 「原著」